



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月31日

上場会社名 日産化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4021 URL <http://www.nissanchem.co.jp/>
 代表者(役職名) 取締役社長 (氏名) 木下小次郎
 問合せ先責任者(役職名) 財務部副部長 (氏名) 吉田洋憲 (TEL) 03-3296-8356
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	101,329	△3.3	7,646	△27.2	8,087	△19.6	5,575	△14.1
23年3月期第3四半期	104,756	4.2	10,507	2.7	10,063	△5.2	6,493	△10.2

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 5,175百万円(△6.3%) 23年3月期第3四半期 5,524百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	32.77	—
23年3月期第3四半期	38.07	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	181,067	113,342	62.1	660.64
23年3月期	183,399	112,361	60.7	654.33

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 112,384百万円 23年3月期 111,311百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	12.00	—	12.00	24.00
24年3月期	—	12.00	—		
24年3月期(予想)				12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	156,000	1.2	18,500	△6.6	18,500	△4.5	12,700	△2.0	74.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

24年3月期3Q	171,000,000株	23年3月期	171,000,000株
24年3月期3Q	885,574株	23年3月期	885,312株
24年3月期3Q	170,114,513株	23年3月期3Q	170,553,228株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

(決算補足説明資料の入手方法)

平成24年1月31日(火)に、決算説明資料をホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	6
(四半期連結包括利益計算書)	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年12月31日）における国内景気は、東日本大震災により寸断されたサプライチェーンの復旧にともない、持ち直しの動きが見られました。しかし、円高の定着、欧州債務危機の顕在化による世界経済の減速など、輸出環境は依然として厳しい状況が続きました。

このような情勢のもと、化学品部門は、震災影響を受けた製品もあり、減益となりました。機能性材料部門は、テレビ用液晶パネルおよび半導体の需要低迷を背景に、大幅な減益を余儀なくされました。農業化学品部門は、製品の流通段階での在庫調整が進み販売は増加しましたが、今期はライセンス一時金収入がないことから、減益となりました。また、医薬品部門は、国内外での販売増加およびライセンス一時金の獲得により、増益となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高1,013億29百万円（前年同期比34億27百万円減）、営業利益76億46百万円（同28億61百万円減）、四半期純利益55億75百万円（同9億18百万円減）となりました。

セグメント別概況は以下のとおりであります。

化学品部門

基礎化学品は、アンモニア、尿素、硝酸、硫酸などの販売は堅調に推移したものの、震災の影響もありメラミンの国内需要が大幅に減少し、減収となりました。また、ファインケミカルは、「ファインテック」（医薬品研究開発参加型事業）で新規案件を獲得した一方、「テピック」（封止材用等特殊エポキシ）などの販売が落ち込みました。この結果、当部門の売上高は276億44百万円（前年同期比6億94百万円減）、営業利益は13億66百万円（同1億34百万円減）となりました。

機能性材料部門

「サンエバー」（液晶表示用材料ポリイミド）は、スマートフォンおよびタブレットPC用液晶パネル向けの販売が増加しましたが、テレビ用液晶パネル向けの需要が、主要ユーザーの稼働率低下により減少し、売上高は前年を下回りました。また、「BARC」（半導体用反射防止コーティング材）は、半導体需要の低迷にともなって販売が落ち込み、「スノーテックス」（電子材料用研磨剤、各種表面処理剤等）は、研磨剤向け出荷が減少しました。この結果、当部門の売上高は、256億2百万円（前年同期比30億95百万円減）、営業利益は37億41百万円（同27億20百万円減）となりました。

農業化学品部門

「ラウンドアップ」（非選択性茎葉処理除草剤）は、流通在庫の調整が進んだことから販売が増加し、「ライメイ」（畑作・園芸用殺菌剤）は土壌処理分野での出荷が増加しました。また、輸出も堅調に推移しましたが、今期は動物薬に関する一時金収入はありませんでした。この結果、当部門の売上高は162億14百万円（前年同期比1億52百万円減）、営業損失は6億87百万円（同1億28百万円減益）となりました。

医薬品部門

「リバロ」（高コレステロール血症治療薬）は、国内での順調なシェア拡大と、昨年5月の欧州での上市により、原薬の販売が増加しました。また、開発中の新薬に関するライセンス一時金を獲得しました。この結果、当部門の売上高は76億0百万円（前年同期比6億83百万円増）、営業利益は35億81百万円（同4億30百万円増）となりました。

卸売部門

輸入品の取扱高が増加した一方、電子材料の需要低迷の影響を受け、関連製品の販売が減少しました。この結果、当部門の売上高は332億99百万円（前年同期比2億98百万円増）、営業利益は10億8百万円（同1億7百万円減）となりました。

その他の部門

エンジニアリング事業などの減収により、当部門の売上高は136億27百万円（前年同期比17億64百万円減）、営業損失は66百万円（同90百万円減益）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金、たな卸資産は増加したものの、売上債権が減少したことなどにより、前連結会計年度末比23億31百万円減の1,810億67百万円となりました。

負債合計は買入債務は増加しましたが、有利子負債残高、未払法人税等が減少したことなどにより、前連結会計年度末比33億12百万円減少し、677億25百万円となりました。

また、純資産は前連結会計年度末比9億80百万円増の1,133億42百万円となりました。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末比1.4ポイント増加し、62.1%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年12月31日）の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益、減価償却費、運転資金の増減などから法人税等の支払額を控除した結果、225億40百万円の収入（前年同期は263億12百万円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、機能性材料部門などの設備投資を中心に86億34百万円の支出（前年同期は56億18百万円の支出）となりました。

また、財務活動によるキャッシュ・フローでは、配当金の支払、借入金の返済などにより73億81百万円の支出（前年同期は210億10百万円の支出）となりました。

この結果、現金及び現金同等物の四半期末残高は、換算差額2億83百万円を差し引き、前連結会計年度末に比較して62億40百万円増加し、273億67百万円（前年同期は139億59百万円）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想は、前回発表(平成23年10月31日)の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,126	27,367
受取手形及び売掛金	55,220	38,843
商品及び製品	23,118	28,435
仕掛品	96	719
原材料及び貯蔵品	5,219	6,161
その他	5,742	7,151
貸倒引当金	△10	△9
流動資産合計	110,512	108,670
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	18,984	19,034
その他(純額)	27,418	26,752
有形固定資産合計	46,403	45,787
無形固定資産		
のれん	2,366	1,894
その他	1,017	974
無形固定資産合計	3,383	2,868
投資その他の資産		
投資有価証券	20,321	21,295
その他	2,992	2,647
貸倒引当金	△214	△201
投資その他の資産合計	23,099	23,741
固定資産合計	72,886	72,396
資産合計	183,399	181,067
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,443	19,769
短期借入金	25,382	25,649
未払法人税等	3,242	—
賞与引当金	1,724	531
役員賞与引当金	30	20
その他	8,060	8,193
流動負債合計	53,884	54,165
固定負債		
長期借入金	14,500	10,986
退職給付引当金	521	476
その他	2,130	2,096
固定負債合計	17,153	13,559
負債合計	71,037	67,725

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,942	18,942
資本剰余金	13,611	13,611
利益剰余金	79,615	81,107
自己株式	△1,072	△1,072
株主資本合計	111,096	112,588
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,438	1,382
為替換算調整勘定	△1,223	△1,586
その他の包括利益累計額合計	214	△204
少数株主持分	1,049	957
純資産合計	112,361	113,342
負債純資産合計	183,399	181,067

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	104,756	101,329
売上原価	68,880	67,987
売上総利益	35,876	33,342
販売費及び一般管理費	25,368	25,695
営業利益	10,507	7,646
営業外収益		
受取利息	29	16
受取配当金	498	505
持分法による投資利益	—	448
その他	1,121	726
営業外収益合計	1,649	1,698
営業外費用		
支払利息	386	342
為替差損	744	337
その他	962	577
営業外費用合計	2,093	1,256
経常利益	10,063	8,087
特別利益		
事業譲渡益	—	650
特別利益合計	—	650
特別損失		
退職給付制度改定損	636	—
特別損失合計	636	—
税金等調整前四半期純利益	9,427	8,737
法人税、住民税及び事業税	2,256	1,762
法人税等調整額	669	1,346
法人税等合計	2,925	3,109
少数株主損益調整前四半期純利益	6,502	5,628
少数株主利益	8	53
四半期純利益	6,493	5,575

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	6,502	5,628
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△427	△54
為替換算調整勘定	△550	△396
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△1
その他の包括利益合計	△978	△452
四半期包括利益	5,524	5,175
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,576	5,155
少数株主に係る四半期包括利益	△52	20

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	9,427	8,737
減価償却費	7,613	7,558
受取利息及び受取配当金	△527	△522
投資有価証券評価損益(△は益)	36	10
支払利息	386	342
固定資産処分損益(△は益)	286	190
売上債権の増減額(△は増加)	13,832	16,187
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,626	△7,020
仕入債務の増減額(△は減少)	5,752	4,492
未払費用の増減額(△は減少)	642	△766
その他	△1,122	△895
小計	32,701	28,313
利息及び配当金の受取額	548	539
利息の支払額	△332	△265
法人税等の支払額	△6,605	△6,047
営業活動によるキャッシュ・フロー	26,312	22,540
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△30	△896
投資有価証券の売却による収入	593	115
有形固定資産の取得による支出	△5,729	△7,404
有形固定資産の除却による支出	△185	△134
短期貸付金の純増減額(△は増加)	29	△52
その他	△296	△262
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,618	△8,634
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△8,784	1,363
長期借入金の返済による支出	△4,876	△4,534
配当金の支払額	△4,453	△4,082
少数株主への配当金の支払額	△118	△121
自己株式の取得による支出	△2,774	△0
その他	△4	△5
財務活動によるキャッシュ・フロー	△21,010	△7,381
現金及び現金同等物に係る換算差額	△485	△283
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△802	6,240
現金及び現金同等物の期首残高	14,762	21,126
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,959	27,367

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期 連結損 益計算 書計上 額
	化学品 事業	機能性 材料事業	農業 化学品 事業	医薬品 事業	卸売事業	その他の 事業	計		
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	21,936	24,388	15,140	6,874	27,344	9,072	104,756	—	104,756
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	6,402	4,309	1,225	42	5,657	6,318	23,955	△23,955	—
計	28,338	28,698	16,366	6,916	33,001	15,391	128,712	△23,955	104,756
セグメント利益又は セグメント損失(△) (営業利益又は営業損 失)	1,501	6,462	△559	3,150	1,115	23	11,694	△1,186	10,507

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,186百万円には、セグメント間取引消去△65百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,121百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期 連結損 益計算 書計上 額
	化学品 事業	機能性 材料事業	農業 化学品 事業	医薬品 事業	卸売事業	その他の 事業	計		
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	21,479	21,874	15,100	7,579	28,131	7,163	101,329	—	101,329
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	6,164	3,728	1,113	21	5,168	6,463	22,658	△22,658	—
計	27,644	25,602	16,214	7,600	33,299	13,627	123,988	△22,658	101,329
セグメント利益又は セグメント損失(△) (営業利益又は営業損 失)	1,366	3,741	△687	3,581	1,008	△66	8,943	△1,297	7,646

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,297百万円には、セグメント間取引消去△140百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,156百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は第2四半期連結会計期間より、従来化学品事業セグメントに属していた無機材料と電子材料を統合し、新たに機能性材料事業セグメントとする組織改訂を平成23年6月28日付で実施したことに伴い、報告セグメントを変更しております。

前第3四半期連結累計期間の「報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報」については、セグメント区分変更後の数値に置き換えて表示しております。

なお、変更後の各報告セグメントの主要製品は以下の通りです。

報告セグメント	主要製品・分野
化学品事業	基礎化学品（メラミン、硫酸、硝酸、アンモニア等） ファインケミカル（封止材用等特殊エポキシ、難燃剤、殺菌消毒剤等）
機能性材料事業	ディスプレイ材料（液晶表示用材料ポリイミド等） 半導体材料（半導体用反射防止コーティング材等） 無機コロイド（電子材料用研磨剤、各種材料用表面処理剤等）
農業化学品事業	農薬（除草剤、殺虫剤、殺菌剤、殺虫殺菌剤、植物成長調整剤）
医薬品事業	高コレステロール血症治療薬原薬
卸売事業	卸売等
その他の事業	肥料（高度化成等）、造園緑化、環境調査、運送、 プラントエンジニアリング等

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。